



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）岸 和宏
問合せ先責任者 （役職名）IR・ガバナンス統括部長 （氏名）久米 清隆 TEL 042-546-2305
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月5日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	66,612	11.6	3,622	67.2	4,108	92.0	2,363	112.2
2024年3月期中間期	59,701	2.3	2,165	516.2	2,139	428.5	1,114	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,869百万円（△54.9%） 2024年3月期中間期 6,357百万円（9.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	106.11	—
2024年3月期中間期	50.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	109,128	66,729	54.2	2,651.23
2024年3月期	102,747	64,319	56.5	2,606.90

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 59,198百万円 2024年3月期 58,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	10.3	6,500	47.3	6,500	51.0	3,500	51.8	157.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	25,000,000株	2024年3月期	25,000,000株
2025年3月期中間期	2,671,436株	2024年3月期	2,749,532株
2025年3月期中間期	22,277,231株	2024年3月期中間期	22,210,437株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における世界経済は、紛争、政権交代等の地政学リスクの高まりが継続する状況下、欧州・米国とも利下げを行うも世界的にインフレ懸念がくすぶり、為替相場は大きく変動し、中国経済の減速懸念、異常気象等、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが注力する自動車関連市場では、電気自動車(EV)へのシフトが減速する等、市場全体でも自動車販売が伸び悩む中、当社グループは長年培ってきた車載向けスピーカの品質を強みとして、パートナー戦略にて車載関連ビジネスの受注を増やすことに注力しました。また、需要予測の精度を高め最適な生産体制と在庫量の保持に努め、原価改善施策も継続的に推進しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、66,612百万円(前年同期比11.6%増)、損益面では、営業利益が3,622百万円(前年同期比67.2%増)、経常利益が4,108百万円(前年同期比92.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益が2,363百万円(前年同期比112.2%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(スピーカ事業)

昨年度に発生した一部顧客における在庫調整が無くなり、また中国において一部の自動車メーカー向けのスピーカ販売が好調だったこと等から、売上高は54,273百万円(前年同期比14.6%増)となりました。損益面では、利益率の高いスピーカ販売が増加したこと、ならびに継続的な原価改善策の結果、営業利益は3,211百万円(前年同期比61.8%増)となりました。

(モバイルオーディオ事業)

イヤホン、イヤホンドライバ等が計画を上回る出荷となった一方、民生用アクチュエータの販売減少等により、売上高は7,560百万円(前年同期比8.4%減)となりました。一方、損益面では、利益率の高い製品の販売が増加したこと等から、営業利益は607百万円(前年同期比67.9%増)となりました。

(その他事業)

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音スピーカ等の販売が堅調だったことから、売上高は4,779百万円(前年同期比17.3%増)となりました。一方、損益面では、前期から取り組んでいる構造改革の影響が一部残ったことから、197百万円(前年同期は営業損失181百万円)の営業損失となりました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に売掛金及び製品の増加により前連結会計年度末に比べ6,380百万円増加して109,128百万円となりました。負債は、主に買掛金の増加により前連結会計年度末に比べ3,970百万円増加して42,398百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,410百万円増加して66,729百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比2.2ポイント減の54.2%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当中間期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより16,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ303百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、仕入債務の増加等により2,701百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により1,775百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済や配当金の支払いにより1,370百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み、2024年5月15日の決算短信で公表しました通期業績予想及び期末配当予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,216	19,779
受取手形及び売掛金	24,934	27,827
電子記録債権	865	688
有価証券	649	450
製品	18,357	21,204
原材料	7,908	7,242
仕掛品	1,539	1,411
貯蔵品	140	169
未収入金	1,673	2,162
前渡金	367	2,331
その他	2,381	2,441
貸倒引当金	△109	△110
流動資産合計	78,925	85,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,091	7,617
機械装置及び運搬具(純額)	4,557	4,780
工具、器具及び備品(純額)	1,887	1,938
土地	3,404	3,408
建設仮勘定	1,437	1,341
有形固定資産合計	19,377	19,085
無形固定資産		
ソフトウェア	189	258
その他	147	151
無形固定資産合計	336	409
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162	2,261
長期前払費用	82	101
退職給付に係る資産	1,344	1,293
繰延税金資産	306	184
その他	212	193
投資その他の資産合計	4,108	4,035
固定資産合計	23,822	23,530
資産合計	102,747	109,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,169	16,817
短期借入金	10,571	10,356
1年内返済予定の長期借入金	775	775
未払金	3,135	2,546
リース債務	483	480
未払法人税等	762	850
未払費用	2,288	2,110
賞与引当金	537	1,292
その他	1,175	1,085
流動負債合計	31,899	36,314
固定負債		
長期借入金	3,781	3,393
繰延税金負債	681	807
リース債務	1,326	1,095
退職給付に係る負債	108	109
役員退職慰労引当金	27	11
株式給付引当金	137	63
その他	466	602
固定負債合計	6,529	6,084
負債合計	38,428	42,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	36,364	38,392
自己株式	△4,042	△3,937
株主資本合計	45,989	48,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	870
為替換算調整勘定	11,345	10,342
退職給付に係る調整累計額	△134	△137
その他の包括利益累計額合計	12,014	11,075
非支配株主持分	6,314	7,531
純資産合計	64,319	66,729
負債純資産合計	102,747	109,128

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	59,701	66,612
売上原価	50,968	54,698
売上総利益	8,733	11,913
販売費及び一般管理費	6,567	8,291
営業利益	2,165	3,622
営業外収益		
受取利息	63	129
受取配当金	20	22
為替差益	232	667
雑収入	151	183
営業外収益合計	467	1,003
営業外費用		
支払利息	388	338
雑損失	104	177
営業外費用合計	493	516
経常利益	2,139	4,108
税金等調整前中間純利益	2,139	4,108
法人税、住民税及び事業税	674	951
過年度法人税等	—	△167
法人税等調整額	△67	43
法人税等合計	606	828
中間純利益	1,533	3,280
非支配株主に帰属する中間純利益	419	916
親会社株主に帰属する中間純利益	1,114	2,363

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,533	3,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277	67
為替換算調整勘定	4,545	△474
退職給付に係る調整額	1	△4
その他の包括利益合計	4,824	△410
中間包括利益	6,357	2,869
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,718	1,424
非支配株主に係る中間包括利益	639	1,444

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,139	4,108
減価償却費	1,523	1,592
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	75	83
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△81	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	301	758
受取利息及び受取配当金	△83	△152
支払利息	388	338
為替差損益 (△は益)	353	362
売上債権の増減額 (△は増加)	977	△2,689
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,449	△2,233
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,573	4,378
未収入金の増減額 (△は増加)	△522	△407
未払金の増減額 (△は減少)	△290	△537
前渡金の増減額 (△は増加)	2,098	△2,065
その他	90	37
小計	11,996	3,567
利息及び配当金の受取額	83	152
利息の支払額	△388	△338
法人税等の支払額	△804	△846
法人税等の還付額	—	167
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,887	2,701
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△439
有価証券の償還による収入	—	667
投資有価証券の取得による支出	△0	—
有形固定資産の取得による支出	△1,298	△1,747
無形固定資産の取得による支出	△31	△104
長期前払費用の取得による支出	△37	△92
定期預金の預入による支出	—	△1,659
定期預金の払戻による収入	—	1,611
その他	30	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,337	△1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,434	△220
長期借入金の返済による支出	△300	△387
配当金の支払額	△223	△336
非支配株主への配当金の支払額	△92	△169
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△138	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,189	△1,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	874	140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,235	△303
現金及び現金同等物の期首残高	13,646	17,034
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,882	16,730

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	47,372	8,255	4,073	59,701	—	59,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,501	1,501	△1,501	—
計	47,372	8,255	5,574	61,202	△1,501	59,701
セグメント利益又は損失 (△)	1,984	362	△181	2,165	—	2,165

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	54,273	7,560	4,779	66,612	—	66,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,876	1,876	△1,876	—
計	54,273	7,560	6,656	68,489	△1,876	66,612
セグメント利益又は損失 (△)	3,211	607	△197	3,622	—	3,622

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。